

2026 年度 松商短期大学部 一般選抜 A「簿記」出題の意図

本試験は、商業簿記の基本的な仕訳処理から勘定記入、決算整理を経た精算表の作成まで、日常取引の処理能力と決算手続に関する総合的な理解を段階的に測ることを目的としている。勘定科目を正しく選ぶ力、計算の正確さ、帳簿記入を筋道立てて行う力までを見る構成とした。

【1】仕訳問題

前期末計上分の未収手数料の再振替仕訳、得意先倒産にともなう前期分・当期分売掛金の貸倒れ処理、社会保険料の納付、建物の改築・修繕における資本的支出と収益的支出の区分、固定資産税の納付、満期保有目的債券の取得、ファイナンス・リース取引という7つの取引を取り上げ、商業簿記の幅広い知識と仕訳の正確性を問う出題とした。なお、勘定科目は一覧から選ばせる形式とし、各科目の性格と分類の理解もあわせて確かめた。

【2】減価償却の帳簿記帳

当期中の商品売買に関する売上勘定・仕入勘定・繰越商品勘定・損益勘定の記入を題材とし、空欄に入る相手勘定科目および金額の算定を求めた。三分法のもとで、決算時に売上原価を仕入勘定で算定する手続きと、売上・仕入を損益勘定へ振り替える流れを、勘定どうしのつながりから読み解けるかどうかをみる出題である。

【3】決算整理・財務諸表の作成

10 項目の決算整理事項にもとづいて精算表を完成させる総合問題である。整理事項は、前期分売掛金の貸倒れ、仮受金の整理、現金過不足の原因調査と処理、期中取得備品の未処理仕訳、貸倒引当金の差額補充法による設定、期末商品棚卸高にかかる棚卸減耗損および商品評価損の処理、建物の定額法および備品の 200%定率法による減価償却、貸付金の未収利息および保険料の前払額の月割計上、法人税等の計上を順次処理させる。決算の一連の手続きを漏れなくこなして、精算表として一枚にまとめ上げられるかを試した。